

2020年度 活動計算書(報告書)

2020年04月01日～2021年03月31日

NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	科目	金額	
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	210,000		
賛助会員受取会費	259,500		
受取会費計		469,500	
受取寄付金			
受取寄付金	16,512,283		
受取寄付金計		16,512,283	
受取助成金等			
受取国庫補助金	6,566,566		
受取地方公共団体補助金	13,566,769		
受取民間助成金	11,823,375		
受取助成金等計		31,956,710	
事業収益			
相談事業収益	3,634,314		
付添い支援事業収益	8,000		
女性の自助グループ開催支援事業収益	7,000		
緊急避難施設運営事業収益	4,184,467		
生活再建支援事業収益(WACCA)	5,700		
デートDV防止教育普及事業収益	30,080		
デートDV防止出前事業収益	225,000		
デートDV防止啓発授業実施事業収益	1,396,408		
支援者養成講座開催事業収益	443,900		
人材育成事業収益	14,000		
WACCA塾事業収入	7,000		
福祉医療機構事業収入	45,000		
情報提供事業収益	80,742		
家庭訪問事業収益	1,555,200		
パイロット事業収益	5,534,500		
事業収益計		17,171,311	
その他収益			
受取利息	131		
雑収益	2,106,631		
その他収益計		2,106,762	
経常収益合計			68,216,566
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
役員報酬	2,020,000		
給料手当	14,442,870		
雑給	185,300		
法定福利費	1,044,238		
通勤交通費	794,500		
会場費	22,100		
【人件費計】		18,509,008	
【その他費用】			
ボランティア謝金	2,742,371		
諸謝金	2,403,959		
旅費交通費	2,963,110		
通信運搬費	695,186		
食材費	390,941		
消耗備品費	1,626,562		
消耗品費	1,739,279		

2020年度 活動計算書(報告書)

2020年04月01日～2021年03月31日

NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	科目	金額	
	事務用品費	154,271	
	新聞図書費	375,530	
	研修費	127,680	
	印刷製本費	674,968	
	修繕費	36,740	
	保険料	131,890	
	水道光熱費	615,468	
	支払地代家賃	5,334,407	
	役員費	307,700	
	支払手数料	208,230	
	雑費	324,501	
	減価償却費	71,076	
	【その他費用計】		20,923,869
	事業費計		39,432,877
	管理費		
	【人件費】		
	役員報酬	539,030	
	給料手当	268,100	
	法定福利費	96,253	
	福利厚生費	69,133	
	通勤交通費	10,780	
	【人件費計】		983,296
	【その他費用】		
	諸謝金	25,160	
	旅費交通費	5,840	
	会議費	25,350	
	通信運搬費	247,038	
	広告宣伝費	4,569	
	消耗品費	116,596	
	事務用品費	22,027	
	研修費	10,000	
	印刷製本費	56,650	
	保険料	25,000	
	水道光熱費	135,339	
	支払地代家賃	696,000	
	諸会費	67,200	
	支払手数料	83,775	
	租税公課	3,800	
	雑費	310,000	
	【その他費用計】		1,834,344
	管理費計		2,817,640
	経常費用合計		42,250,517
	当期経常増減額		25,966,049
	2.経常外増減の部		
	(1)経常外収益		
	経常外収益合計		0
	(2)経常外費用		
	経常外費用合計		0
	当期経常外増減額		0
	税引前当期正味財産増減額		25,966,049
	法人税、住民税及び事業税	122,000	
	当期正味財産増減額		25,844,049
	前期繰越正味財産額		16,789,931
	次期繰越正味財産額		42,633,980

2020年度 貸借対照表 (2021年3月31日現在)

NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	15,049	未払金	1,883,889
普通預金	22,167,496	前受金	7,796,000
定期預金	10,000,000	預り金	186,680
未収金	18,558,975	流動負債合計	9,866,569
流動資産合計	50,741,520	固定負債	
固定資産		固定負債合計	0
建物	1,194,345	負債合計	9,866,569
建物付属設備	211,875	正味財産の部	
什器備品	1	前期繰越正味財産	16,789,931
保証金	352,808	当期正味財産増減額	25,844,049
固定資産合計	1,759,029	正味財産合計	42,633,980
資産合計	52,500,549	負債及び正味財産合計	52,500,549

2020年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2021年3月31日現在

NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ

(円)

科 目	摘 要	金 額	
資産の部			
流動資産			
現金		15,049	
--本部事務所		15,049	
普通預金		22,167,496	
--三井住友銀行		13,110,260	
--三井住友銀行(WACCA)		628,303	
--ゆうちょ銀行		1,094,762	
--ゆうちょ銀行振替口座		7,334,171	
定期預金		10,000,000	
--三井住友銀行		10,000,000	
未収金		18,558,975	
--受託料		7,623,260	
--補助金・助成金		10,935,715	
流動資産合計			50,741,520
固定資産			
建物		1,194,345	
建物付属設備		211,875	
什器備品		1	
保証金		352,808	
固定資産合計			1,759,029
資産合計			52,500,549
負債の部			
流動負債			
未払金		1,883,889	
--給料・交通費		1,662,800	
--社会保険料		87,890	
--クレジット		133,199	
前受金		7,796,000	
預り金		186,680	
--源泉所得税(給与)		70,296	
--源泉所得税(謝金)		69,584	
--住民税		46,800	
流動負債合計			9,866,569
固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			9,866,569
正味財産合計			42,633,980

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法によっています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっています。

無形固定資産・・・定額法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

科目名	DVシェルター	生活再建事業	DV防止啓発	人材育成事業	事業部門計
【人件費】					
役員報酬	2,020,000	0	0	0	2,020,000
給料手当	7,324,410	6,416,280	278,200	423,980	14,442,870
雑給	75,300	110,000	0	0	185,300
法定福利費	612,539	431,699	0	0	1,044,238
福利厚生費	0	0	0	0	0
通勤交通費	58,700	735,800	0	0	794,500
会場費	4,000	12,700	0	5,400	22,100
【人件費計】	10,094,949	7,706,479	278,200	429,380	18,509,008
【その他費用】					
ボランティア謝金	2,239,440	502,931	0	0	2,742,371
諸謝金	303,411	590,137	607,000	903,411	2,403,959
旅費交通費	1,142,990	1,487,162	167,018	165,940	2,963,110
会議費	0	0	0	0	0
通信運搬費	200,386	494,800	0	0	695,186
広告宣伝費	0	0	0	0	0
食材費	190,000	200,941	0	0	390,941
消耗備品費	316,255	1,310,307	0	0	1,626,562
消耗品費	504,922	1,234,357	0	0	1,739,279
事務用品費	110	154,161	0	0	154,271
新聞図書費	43,092	319,068	0	13,370	375,530
研修費	67,480	7,200	0	53,000	127,680
印刷製本費	0	355,968	220,000	99,000	674,968
修繕費	0	36,740	0	0	36,740
保険料	0	131,890	0	0	131,890
水道光熱費	332,658	282,810	0	0	615,468
支払地代家賃	1,956,000	3,378,407	0	0	5,334,407
役員費	0	307,700	0	0	307,700
諸会費	0	0	0	0	0
支払手数料	17,330	183,200	3,960	3,740	208,230
租税公課	0	0	0	0	0
雑費	35,329	289,172	0	0	324,501
減価償却費	0	71,076	0	0	71,076
【その他費用計】	7,349,403	11,338,027	997,978	1,238,461	20,923,869
経常費用合計	17,444,352	19,044,506	1,276,178	1,667,841	39,432,877

3. 使途が制約された寄付金の内訳

使途が制約された寄付金の内訳は以下の通りです。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
居住支援事業法人 国庫補助金		3,566,566	3,566,566		
DVシェルター運営 地方公共団体補助金		6,365,070	6,365,070		
DVシェルター運営 民間助成金		4,820,000	4,820,000		
ひとり親家庭の交流の場 となる拠点づくり事業		4,500,000	4,500,000		
こどもの居場所づくり 支援事業		200,000	200,000		
人材育成 組織基盤強化事業		1,400,000	1,400,000		
合 計	0	20,851,636	20,851,636	0	

4. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得 価額	取得	減少	期末取得 価額	減価償却 累計額	期末帳簿 価額
有形固定資産						
建物	1,483,650			1,483,650	289,305	1,194,345
建物付属設備	616,350			616,350	404,475	211,875
器具備品	630,000			630,000	629,999	1

2020年度 事業報告

総括：2020年度は国のパイロット事業(ステップハウスの開設、WACCAにおけるDV被害女性と子どもへの中長期支援事業)への取り組みに加えて、コロナという災害状況下で、困難を抱える女性と子どもを対象により幅広い支援を行った。平時からの支援のノウハウを活かしてスタッフ・ボランティアがほんとうによく頑張った年であった。居場所を失う女性たちの増加に対応するために、シェルターの拡充や行政からの委託による夜間の電話相談事業なども行ったが、多くの新旧のスタッフの応援を得ることで実施できたことを感謝している。多忙な支援活動の一方では、団体の基盤強化事業にも継続して取り組み、事業の見直しや会議の持ち方や運営体制の刷新、ファンドレイジングへの取り組み等も行った。新たに20代、30代のスタッフも雇用できたことで、多様な年代が活動する層の厚い団体となり、活動の継承に明るい展望を持てるようになった。コロナ禍における女性の状況が、26年前の震災の状況と非常に重なって感じられ、大きな要因であるジェンダー不平等が未だに改善されていないことに愕然としているが、過去と異なる点は、少なくとも、孤立や貧困、暴力にさらされている女性の困難に社会や国が少しずつ目を向け始めていること、支援の手が差し伸べられつつあることだ。今年度、当団体への寄付の多さから、日頃の活動の必要性や意義がようやく社会に認識された年でもあったと思う。(正井)

(★は新規事業)

1 DV等の被害に苦しむ女性と子どものための相談・支援

① 各種相談

電話相談 サポートライン 月水金 10:00~16:00 549件 内 居住相談 82件

携帯電話(正井・三野) 延べ1500本 シェルター滞在者 DV相談 その他の相談に分けて集計する

面接相談 一般相談 158件 内居住面談 45件

★メール相談 353件

LINE 電話相談 5件

シェルター入居 現在シェルター 2部屋 4家族入居可能

おとな 21人 子ども 22人 延べ滞在日数 859日 (子どもの滞在日数を加えた)

② ★ ステップハウス事業

大人 4人 子ども 0人 延滞在日数 464日

大人 6人 子ども12人 延滞在日数 268日

③ 居住支援 (2020年8月~2021年1月国交省事業)

相談 82件 内面談 45件 同行支援 11件 成約 34件 入居後支援 15件

④ 同行支援 196件 内居住に関する支援 11件

主な同行先 警察 病院 役所(生活保護課) 弁護士事務所 裁判所 不動産屋 家探し内覧 買い物

⑤ 県からの委託によるシェルターの利用者 5件

●成果と課題

コロナの影響によるDVの増加を予測し、昨年4月から電話相談に加えてメール相談を開設したが、メールによる相談も多く、幅広い支援の窓口に対応できたことはよかった。スタッフもボランティアも心をひとつに

して、なんとかこの難局を支え続けた1年だったと思う。

2019年に居住支援法人の資格を取得してから、家さがしの相談が増えている。特にコロナの影響からか、2020年の8月以降、居住相談が増加しており、その全てが深刻なDV被害女性からの相談である。ヨーロッパ諸国では、DV被害女性がSOSを出したら、自治体が安全な住居を提供する制度ができています。日本では公営のシェルターに保護された女性の場合は、離婚していなくても公営住宅に入居できる制度があるが民間シェルターでは認められない。実際の支援に役立つよう制度の改善を提言していきたい。

昨年4月から国のパイロット事業としてステップハウスを開設、シェルターも1か所増設し、3カ所のシェルターの運営を行った。危険度を慎重に確認したうえで、本人が希望される場合は、シェルターから職場や学校に通うケースもあった。海外でのシェルターでは、場所の秘匿以外は利用者にルールはないというところが多く、退所時期も当事者が決定すること。今後、当団体も当事者の意思を尊重し、当たり前の暮らしができるシェルターをめざしたい。そのためには、コミュニティの理解と支援、ジェンダー平等が不可欠であり、ジェンダー平等を実現するための取り組みも地道に行っていく必要性を感じている。

2 女性や子どもに対する暴力をなくす活動

① デートDV防止事業

コロナ禍で授業の実施が心配されたが、オンラインや寸劇を録画するなど工夫される学校もあり、予定よりも多く実施することが出来た。今年度はスライドの改定や挿絵をリニューアルし、とても好評だった。

コロナの影響でオンラインで授業を実施することもあった。

実績 中学校 25校 高校 23校 大学・専門学校 11校 総数9996人 前年度の3割減であるが、コロナ禍での実施は、学校側の努力や講師の皆様の熱意があって実施できたことで、感謝している。

②デートDVトレーナー養成オンライン講座 2021年 11月21日22日 参加15名

③ボランティア養成オンライン講座 2021年2月実施 参加者28人 ボランティア希望者6人

④企業向けDV防止オンラインセミナー 2社で実施。ネスレ神戸本社 6人 コープこうべ 25人

●課題 コロナ禍でも、授業が実施できた学校がありほっとしている。他の講座は全てオンラインで実施したことで、参加者は広がったが、実際に当団体で活動してくれる人材の育成という点では残念だった。

企業向けの講座は、ジェンダー平等が叫ばれるなかで、今後も積極的に取り組んでいくことで、企業の意識改革と、企業の活動支援に繋げていきたい。

3 シングルマザーや子どもたち、女性たちの居場所・生活再建事業

★①(新規)WACCA b(ふらっと)交流拠点 開設

来所 174件

居場所 970名

相談 123件

親の学習支援 33回 1名高卒認定試験合格 日本語学習

食料支援 フードパントリー20回(200名)食糧支援

●成果と課題

昨年、コロナ緊急事態宣言が発出され、わっかに繋がっていた方々に「WACCAエール便」を発送した。発送したことでお返事のメールなどが寄せられシングルマザーの置かれている状況などを把握することができ、連絡の途絶えていた方々とも繋がることができた。エール便をしたことが後の、パントリーをするきっかけとなり、食料支援を通して来所される方々の声を聴く事で必要な支援につなぐ事ができている。居場所では「何気ない会話」の中から心配事など話され、必要に応じて専門相談に繋いだり、他の利用者と交流することで情報交換の場にもなっている。大人の学習支援では自立に向けての一步に繋がっている。昼間の利用者が少しずつではあるが増えてきている。コロナ禍の中、シングルマザーのイベントなどの開催が難しい。

★②WACCA+(ふらす)相談事業

居場所事業 DV被害者等生きづらさを抱えた居場所の開設運営

弁護士、精神科医、キャリアコンサルタントなどの専門家に加え、スタッフなどの相談事業を行った。

法律相談	24件
女性の悩み相談	36件
オープンダイアログ(リフレクティング)	54件
女性のからだ相談	3件
キャリア相談	14件
電話・Line・メール	29件
その他相談	60件
自助 オリーブの会	11人
子どもカウンセリング	子ども6人(10回)

●成果と課題： 従来の相談を継続しつつ、法律相談の場をWACCAに移したことで、元精神科医や保育士などの協力を得て、オープンダイアログ(リフレクティングの手法による)を実施した。従来の個人面談とは違い、複数でフラットなかかわりを持つことから、話しやすいと、連続のセッションを希望される方も多い。また、SNS やメールでの相談も登録制で行った。夜不安になるとか、緊急事態の解消など不安軽減には役に立った。しかし、対応する人が限られているため、できるだけ、対面や個人の相談へとつなげた。

③居場所事業 DV被害者等生きづらさを抱えた居場所の開設運営

週1回程度女性たちが集まって、軽作業などの社会に向けた活動(ボランティアの日)延べ107名
読書会、おしゃべり会など、人が集いエンパワメントできる場を作る 延べ114名

●成果と課題

様々な生きづらさを抱えた女性たちが孤立や孤独感を解消し、お互いの立場を思いやる雰囲気が出てきた。わっかに継続してくるだけでも生活に張りができると話していた人もいた。また新年度から就職が決まり働き始める人もいた。

⑥ 学習支援支援WACCA塾

学習支援の継続実施 学校での授業理解など基礎的な学ぶ力をつける学習をボランティアの見守りと支援で行った。

小学生 471 名

中学生 1186 名

ボランティア 788 名

ボランティア同士の交流学びの機会

ボランティア研修 2月27日(土)19:00~21:00(zoomで開催) ボランティア・スタッフ 19名
生徒とボランティアの交流「大学ってどんなところ？」 3月16日(火) 18:00~19:30

中学生 8名・大人 13名

新型コロナ禍の中での子どもたちへ、聞き取り調査(別途報告書にまとめる)

⑦ 母と子どもの体験交流事業

7月19日 シングルマザークッキング&子どもたちの実験教室

8月5日 実験教室

10月11日 リンゴ狩り

11月18日 親子で忍者

12月12日 クリスマスプレゼントお渡し

●成果と課題

コロナ禍の中で、集まってのイベントを計画実施することの難しさを実感した。当初予定していた泊合宿やバーベキュー大会などは中止せざるを得なかった。そこで工夫を凝らして、なるべく密にならないようにしながら楽しいイベントも実施することができた。親子だけで煮詰まりそうな日常を楽しい時間を共有することができた。

⑧ 家庭訪問事業 神戸市内 月2回 10世帯 兵庫県内 月2回 4世帯

4 組織基盤強化事業

DV被害を受けた女性と子どもの切れ目のない中長期支援の構築を目指す

① ・スタッフ・ボランティアのスキルアップのための養成講座の開催 全6回

第1回 6・27 スタッフボランティアスキルアップ講座 講師増井香名子 ZOOM 講座

「DV被害者相談の実際①～子どものいるDV家庭のDVと虐待の介入と支援の論点整理」 20名

第2回 7・12 スタッフボランティアスキルアップ講座 講師杉山伸子 ZOOM 講座

「女性の健康に配慮した支援で求められること」 参加者 15名

第3回 8・2 スタッフボランティアスキルアップ講座 講師増井香名子賀名子 ZOOM 講座

DV/虐待の親と子のアセスメント・カンファレンス 参加者 21名

第4回 9.19 スタッフボランティアスキルアップ講座 講師奥見弁護士 ZOOM 講座 参加者 14名

第5回 9.21・22 スタッフボランティアスキルアップ講座 講師 湯前知子 和泉友子

夫・恋人からの暴力を経験した女性のサポートグループ・ファイシリテーター養成講座 参加者 20名

この講座をもとに実際にサポートグループを5月から開催予定。

第6回 11・25 スタッフボランティアスキルアップ講座 講師 大阪経済大学 金子啓子

個人情報保護の組織的対応 ～信頼を継続するために～ 参加者 15名

個人情報についての講座により、実際の活動の中で個人情報を扱うことが多いことから
共通の理解を得るために対面での講座を行った。

② 社会保険労務士による相談（村上）雇用契約、就業規則の見直しなどについてアドバイスを得て、新たな就業規則を作成した。

③ 相談・支援内容についてのデータ入力(試行期間)

キントーンによる相談データのフォーマット作成・入力（鈴木・橋本）

④ 運営体制の刷新と団体の魅力を再発見する事業

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs の継続助成(2020年1月～12月)を受けて、将来に向けた当団体のあるべき姿を、スタッフを含めメンバー全体で実施していくことができるよう「働き甲斐、関わり甲斐の高い NPO を目指し、運営体制の刷新と団体の魅力を再発見する事業」をテーマとして取り組んだ(取組み1:組織体制及び運営方法の刷新、取組み2:団体の存在価値の再発見、取組み3:団体の5か年計画<ロイヤリティレイジング戦略>の策定)。

基盤強化会議を定期的開催し、昨年度の結果と課題の共有からスタートし、新規予定事業の位置づけと人員体制検討、職員/ボランティアの役割明確化の議論、事業の位置づけと今年度計画、人員配置(中堅職員の登用)・役割分担、運営委員会での意思決定と理事会への伝達、と組織運営の基本となる事項について、会議での議論と整理を進めた。また、基本的なルールや規程の整備として、運営基本規程、決裁規程、就業規則の各案の作成を行った。職員・ボランティアを対象に、e-NPS(Employee Net Promoter Score: 従業員のロイヤリティ=職場に対する愛着・信頼の度合いを数値化する指標)のアンケートを行い、組織内部の魅力、働き甲斐、改善点などを見出すことができた。

●成果と課題

○事業を見直す中で、新型コロナの影響で新たに必要となった臨時支援事業や新規補助・委託事業にも柔軟に対応することができた。(

内閣府:DV 相談+, 神戸市:ひとり親家庭交流拠点、夜間電話相談など 兵庫県:DV 被害者等専門的相談支援事業及び総合的支援事業等)

○基盤強化会議メンバーに外部メンバーに参加してもらうことで、客観的な意見をもらえた。e-NPS の調査結果に対するコメントや、ウィメンズネット・こうべの組織・事業の全体像と支援の分析からは今後の取組みへのヒントも得られた。

○ファンレイジングについては、新型コロナの影響で、寄付をしてくださる団体や個人も増加している。新型コロナ禍での活動を可視化し、団体の意義をアピールすることの。それに対応できる寄付を含めた戦略が必要であると感じている。

⑤ファンドレイジングへの取組みを充実させる

団体の経済的基盤を図り、スタッフの安定的雇用による人材の確保、世代交代を可能にすることが緊急課題との認識のもと、会員や寄付者を増やす努力を、以下を通して行った。

- ・認定 NPO 法人の更新
- ・京都のファッション企業である JAMMIN さんとのコラボで Tシャツのデザインを制作し、販売の一部を寄付としていただくことができた。目標額 25万 実績17万円になった。新たなつながりができてよかった。
- ・神戸市のふるさと納税を活用した取組み「DV 被害を受けている女性と子どもたちに救いの手を！（目標金額 300 万円を達成した）
- ・ギブワンや SOLIO(ソリオ)など、他団体のプラットフォームを活用した寄付募集と活動レポートの情報発信(<https://giveone.net/index.html> <https://solio.me/>)
- ・「遺産相続」募集のパンフレットへの記載など
- ・ファンドレイジング戦略・施策・実施体制の策定、および実施支援、ファンドレイジングに係る広報戦略・施策の策定と実施、ツールの整備、事務局業務改善に係るコンサルティング、労務人事体系に係るコンサルティングを進めることを目的に、FIL 財団の助成金を申請し、採択された(300 万円)。2021 年度から実施する。

5. 組織運営

<会議の開催報告>

- ・総会の開催:2020年5月30日(土) zoomによるオンライン会議で開催
- ・臨時総会の開催:2020年9月6日(日)10時~12時

認定法人資格更新にあたり、9月に神戸市の監査があり、いくつかの問題点を指摘されたが、事務局の努力でなんとか難関を乗り切ることが出来た。これを教訓に、労務管理や事務処理の改善を図ることが急務であると再確認することが出来て、10月以降の事務局体制の見直しを始めている。

- ・運営委員会の開催:2020年4月から2021年3月、毎月第一木曜 開催
コロナで忙しく 理事会は開催できなかったが、月1回の運営会議を開催し、河合さんにも参加していただくことで、組織運営の改善に取り組んだ。

<会員数・寄付者数>(2021年3月31日時点)

正会員:27名、賛助会員:60名、寄付者数:283名

<組織体制>

理事:8名、監事1名、スタッフ:19名、ボランティア:30名

協力団体・協力者

認定 NPO 法人フードバンク関西 NPO 法人フリーヘルプ NPO 法人すまみらい
認定 NPO 法人市民活動センター神戸 認定 NPO 法人 CS 神戸 認定 NPO 法人しゃらく
コープこうべ 日本フィランソロピー協会 ふじっこ 国際ソロプチミスト各団体
おてらおやつクラブ 日本善意財団 神戸市社会福祉協議会 ロリアル カーブス板宿 (株)ロゴナジャパン
神戸本社